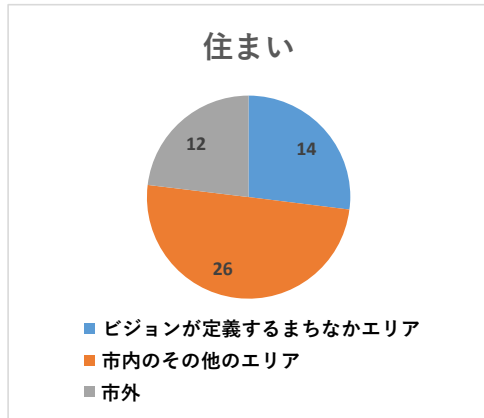


飯能まちなか未来シンポジウム（令和6年3月24日開催）

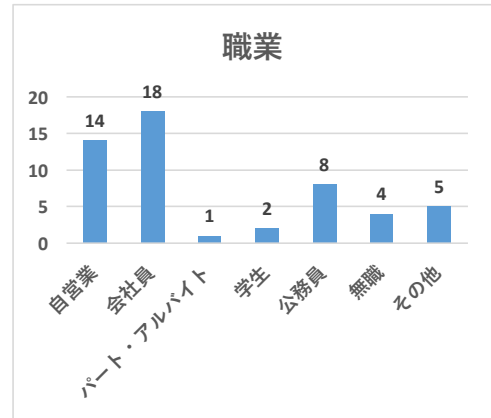
アンケート集計結果

1 ご自身について

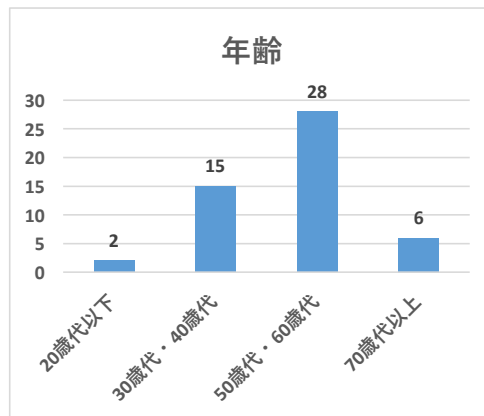
(1) 住まい（回答者数：52人、単位：人）



(2) 職業（回答者数：52人、単位：人）

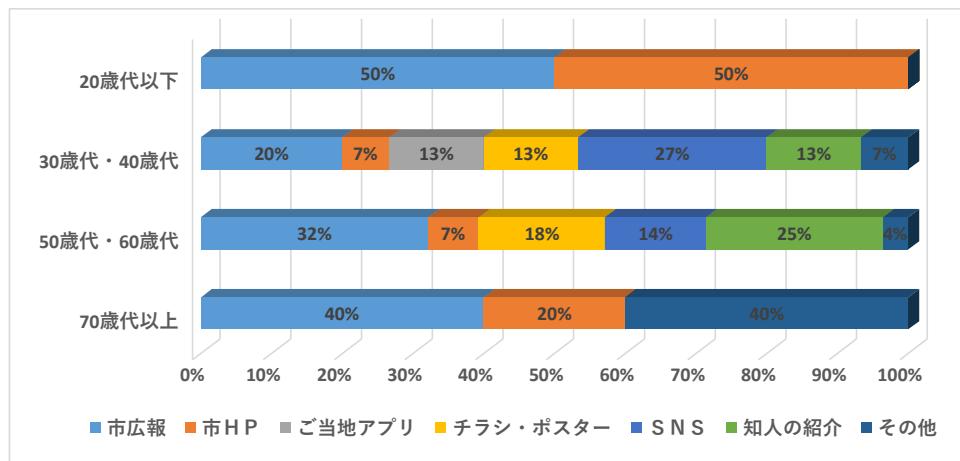


(3) 年齢（回答者数：51人、単位：人）



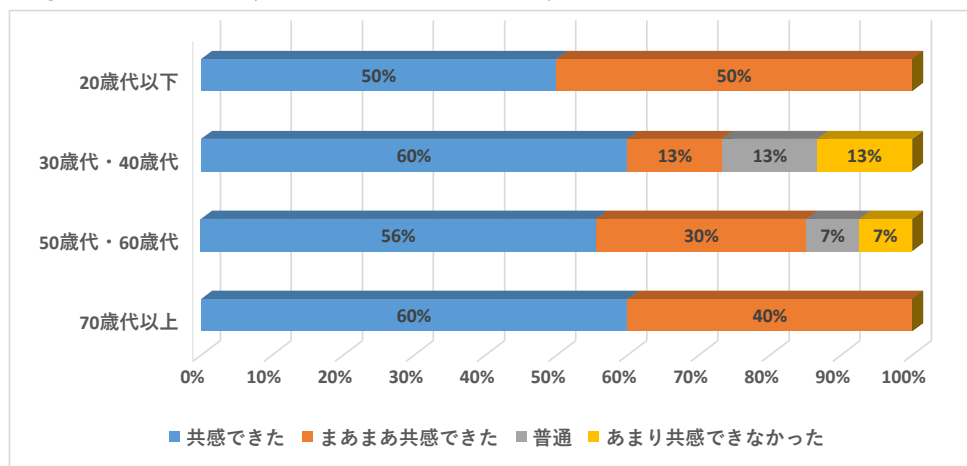
2 本シンポジウムについて伺います。

(1) シンポジウムをどのように知りましたか。（回答者数：51人、単位：%）

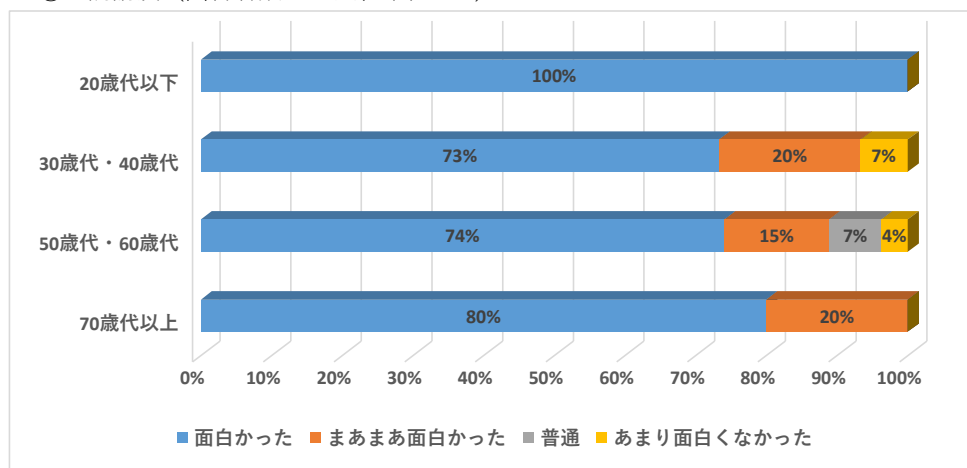


(2) シンポジウムの内容はいかがでしたか。

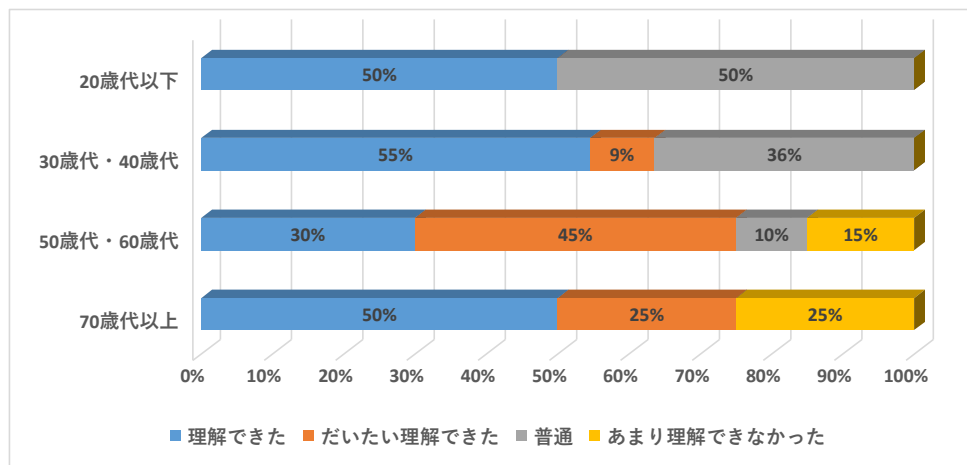
① ビジョンの発表（回答者数：50人、単位：％）



② 基調講演（回答者数：50人、単位：％）



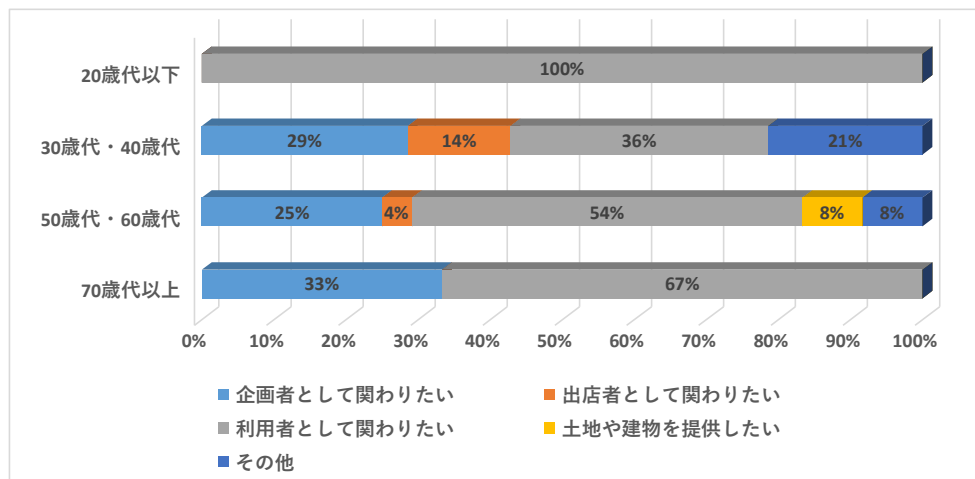
③ トークセッション（回答者数：38人、単位：％）



(3) 「飯能まちなか未来ビジョン」の内容で特に印象に残ったことを教えてください。(抜粋)

- ・ たしかに”まちなか”には公園とか人が集まるようなスペースがないと思いました。
- ・ 安全→快適→楽しいの3つのステップが基本だけどとても大切だと思いました。
- ・ 駐車場の多さ、車の回遊について初めて知りました。
- ・ 先ずはこのようなビジョンが策定されていること事態に驚き、良きことだと思いました。
- ・ 歩きやすさは大切な要素だと思いました。
- ・ 飯能市がとても面白く真剣に取り組んでいることがわかりました。
- ・ ウォーカブルなまちづくりの内容が印象的でした。地方は車社会になりがちの中で、歩きやすいというのは市内の様子が変わると思いました。
- ・ ウォーカブルはこのまちの課題だと思いました。駅を降りても溜まれる場所がありませんので、若者が集える場所が必要です。
- ・ 「公民連携」というフレーズが繰り返し使われていたのが印象的でした。
- ・ 飯能は昼間は東京で働いている人が多く知らないことが多く、情報発信の方法も要検討だと思いました。
- ・ ビジョンが定義するエリアの中に駐車場の面積の割合が大きいことが印象に残りました。

(4) 今後、実施される様々な実証実験やプログラムに関わりたいと思いましたか。(回答者数：44人、単位：%)



3 自由記述（抜粋）

- ・森林文化都市の考え方"まちなか"ではどう捉えるか、木材を加工した物を設置するのは良いと思いまいた。
- ・まちづくりにかかわりたい人のフォローをやっていくというのは非常に大切だと思います。ワンストップ窓口があることで相談のハードルが下がると思いました。そういう仲間を作るとことで市の本気を感じることができました。
- ・姫路と飯能ではそもそものポテンシャルが違いすぎて、同じような道路をつくるのは難しいように感じました。もっと飯能と同じような状況からの成功事例があれば見てみたいです。
- ・駐車場などのスペースを新規の店舗にするには土地のオーナーの方や所有者の方との交渉や相互理解が必要になってくると思います。今回発表したビジョンをより市民の方の知っていただくためにSNSやポスターなどで宣伝していくべきだと思いました。
- ・民間の情熱を反映しやすくするためには実験トライアルができる行政の対応、民間と行政のチーム作りが大事だと思います。
- ・以前、初めてはしらベンチを見て座った時に感動したことを思い出しました。森林のまちを感じました。些細なことですが、飯能を感じ好きになるようなものをまちなかに散りばめてほしいです。
- ・シニア世代の方も気軽に訪れたいくなるバリアフリーを重視したまちづくりをお願いします。
- ・安心安全で持続可能なまちづくりを進めていくいいきっかけになったと思います。
- ・これから小さなことからでも進んでいけることが楽しみです。
- ・様々な世代の人が共生して交流できるまちづくりを目指してほしいです。
- ・車社会を人社会に変えていくにあたって、バスの運行についても本数を増やす、時間を見直すなど交通についても見直しが必要になると感じました。
- ・衣・食・住・遊・学の様々なレベルで、森林文化都市の言語化が大事だと思いました。
- ・今後の飯能の方向性としてとても面白い取組だと思いました。